

## 編集後記

執筆者の皆様におかれましては、ご多忙の折ご寄稿いただきまして、誠にありがとうございました。お蔭様で会誌77号の発刊を行うことができました。

本原稿を執筆しております時には、世界中がサッカーワールドカップに熱狂し、今大会も数々のドラマが生まれ、私たちに感動と興奮を届けてくれました。試合結果だけを見れば勝者と敗者に分かります。今大会では、ベテラン選手の円熟したプレーと若手選手の躍動が印象的でした。技術や戦術の進化を感じる一方で、勝利への情熱やチームワークの大切さといったサッカーの本質は変わらないことを改めて実感しました。

これは、IT業界にも通ずるものがあります。2026年に入り、AI市場とIT市場の融合はさらに加速しています。生成AIの実用化が進み、企業の関心は「導入するか」から「いかに業務価値を生み出すか」へと移行しました。クラウド、データ基盤、セキュリティといった従来のIT投資も、今やAI活用を前提に再定義されつつあります。一方で、AIの急速な普及は、生産性向上への期待だけでなく、ガバナンスや人材育成、情報管理といった新たな課題も浮き彫りにしています。技術革新のスピードに目を奪われがちですが、最終的に競争力を左右するのは、AIを活用する組織文化と人材の力でしょう。

同様に、医療現場を取り巻く環境も大きく変化していますが、その変化を支えるのは、技術だけでなく、やはり業界全体が共通の方向性を持って協力する姿勢です。JAHISが培ってきた知見やネットワークは、医療機関、行政、企業をつなぐ架け橋として、安心・安全で質の高い医療サービスの実現に寄与してまいります。

今後もJAHISは、ヘルスケアIT業界の発展を牽引する存在として、新たな価値創造やイノベーションの促進に貢献していきたいと思えます。

最後になりましたが、本号の発刊にあたりご尽力いただきました執筆者の皆様ならびに関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今後とも弊社活動の充実と発展に向けて、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記 T. O